

① 学習指導案

プログラム	No.11 「 地域景観プランナーになろう 」
単元名 (全70時間)	アートで広かれ！植物の魅力！
学習のねらい	仏向の植物の種類や特徴を観察したり、魅力をアートで発信したりする活動を通して、植物の多種多様な生態を感じたり、伝える内容や表現方法などの工夫を考えたりして、表現することのよさ、仏向の自然環境の魅力やそれ関わる人々の思いや願い、取組に気づき、自らが興味・関心をもったことなどに粘り強く取組 みやり遂げようとしたり、これからも身近な自然環境のよさを味わい、大切にすることができるようにする。
学習内容	1 植物アートに取り組む 2 植物の栽培、観察を通して植物の魅力を見つける 3 植物アート展で植物の魅力を広める
参考資料 準備品 実施場所等	画用紙、アート展用の額 学校

学習の流れ

② 事業実施報告書詳細

時間数	場所	概要	活動記録	対象者の反応
5	学校	校内の植物に出会う		植物が風景から学習対象としてとらえるようになり、学習意欲が高まっていた。

15	学校	校内の植物を使い、アートに挑戦する。		表現活動を楽しむことで、植物への興味や活動の広がりを実感していた。
20	学校・地域	植物を栽培・観察を通して植物の魅力を発見する。		植物調査を通して、植物の種類別の生態の違いや個体差があることを発見したり、世話をしている方の存在やその方の思いを理解したりしていた。また、それらが植物の魅力であると気付いていた。
30	学校	植物アートを作製してアート展を開き、植物の魅力を伝える		魅力を伝えるために試行錯誤しながら、熱心にアート作品を作製していた。完成後はお互いの作品を鑑賞し合い、それぞれの植物の魅力を理科しい、友達の作品を解説できるようになっていた。アート展では来場者に植物の魅力を伝えた。



③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>3年生の発達段階を考慮し、「植物の魅力を発見→植物アートで表現」ではなく、「植物アートに熟中→植物の魅力を発見」となるよう単元構想を行った。また植物アートに夢中になるために活動時間を十分に設けた。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>「植物アートが楽しいから活動したい」という状態から、「植物の魅力を植物アートで表現したい」へと子どもたちの意識の変容に想像以上の時間を要したこと。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>(児童の振り返りから)</p> <p>自分の中では、これまで植物は単なる風景でしかなかったが、今ではとっても大切なものになっている。たくさんの人たちの手によって植えられて手入れされているし、長年そこにあるからたくさんのお人の気持ちや思い出も詰まっている。それにアートにしたらとっても素晴らしい。植物はたくさんのお人を笑顔にする魔法みたい。これからは仏向の植物を大切にしていきたい。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>仏向の植物には想像以上の多くの方が関わっていることに驚いた。詳しく聞いてみるとまちの歴史や人の想いにふれることができ、地域についての理解を深めるきっかけとなった。普段何気なく目に見える植物はまちを彩るだけではなく、人や思い、時をつなぐことのできる景観であることに気付くことができた。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>コロナで失われてしまった地域とのつながりを取り戻したい。地域社会の一員としてまちへの愛着や帰属意識を養い、主体的に参画していける子どもを育てるために、今後も地域の人・もの・ことにつながる学習活動を実践したい。</p>